

第11回「日本語大賞」

テーマ「おもしろい日本語」

小学生の部 文部科学大臣賞 受賞作品

「あなたを思う気持ち」

アメリカ

シアトル日本語補習学校

小学6年 川澄 美紅

特定非営利活動法人 日本語検定委員会

「あなたを思う気持ち」

シアトル日本語補習学校 小学六年
川澄 美紅(かわすみ・みく)

私は、アニメ「名探偵コナン」を毎週観ています。アメリカに住んでいるので、動画は英語字幕付きになっています。字幕を読まなくても意味はわかります。しかし、時々、下の方の字幕に目をやると「英語の訳文が変だな。」と思うことがあります。

それは、あいさつの場面です。

出かける時「いつてらっしゃい。」家に帰ってきて「ただいま。」おかえりなさい。「仕事を終えると「おつかれさま。」。が、どうしても英語にしっくり当てはまる言葉がありません。「あえて言うならこう言うかも。」というのではないわけではないですが、その場に合いません。その結果、字幕でも無理やり当てたようなおかしい英語が出てきます。

生活の中のあいさつは、日本独特の表現方法で、「あなたを思っているよ。」というメッセージがかくされています。考え過ぎかもしれませんが、なかなか言葉を切り出せない日本人が考えて作り出した言葉なのかもしれません。

「よろしくお願いします。」も日本独特の表現方法です。両親はメールや会話の中でひんぱんに使います。母に日本人がこの言葉をよく使う理由を聞くと、「便利だから。」だそうです。確かに、相手に「適当に済ませておいてね。」とお任せする時に言うのですが、ただ無責任に「お任せ」するのではなく、「ご苦労やご面倒をおかけします。」という相手を思いやる気持ちもふくむといえます。「あなたにやっていたただくけれども、その責任は私にもある。」という宣言で、言ってみれば「私とあなたと一緒にその問題を解決しましょうね。」という前向きな態度なのかもしれません。「あなたを思う気持ち」が言葉に息づいていることを知りました。

コナンのアニメを見る、訳しづらい言葉にこそ日本人の国民性が表れているのではないのでしょうか。例えば、「YOROSHIKU」のように日本語をそのまま英語にしたらどうでしょう。日本語の意味が正しく伝わるかもしれません。

私は、これからも正しい日本語を学んで、日本語を上手に使って自分の気持ちをまっすぐ伝えられるような大人になりたいです。